



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社コパ・コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7689 URL <https://www.copa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 泰助  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 吉川 秀人 (TEL) 03-5724-4302  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年2月期第3四半期の業績 (2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,645	△10.7	△172	—	△170	—	△170	—
2024年2月期第3四半期	1,841	△12.2	△248	—	△250	—	△1,148	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期第3四半期	△57.62		—					
2024年2月期第3四半期	△387.54		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	1,548	—	1,306	84.4		
2024年2月期	1,646	—	1,477	89.7		

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 1,306百万円 2024年2月期 1,477百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の業績予想 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,550	15.6	3	—	3	—	1	—	0.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年2月期3Q	2,963,000株	2024年2月期	2,963,000株
2025年2月期3Q	124株	2024年2月期	124株
2025年2月期3Q	2,962,876株	2024年2月期3Q	2,962,908株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 (P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で中国経済の減速や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクの他、為替変動及び原材料・エネルギー・物流コストの高騰や物価上昇による個人消費への影響が懸念されるなど、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当第3四半期累計期間における業績は売上高1,645,213千円（前年同期比10.7%減）、営業損失172,816千円（前年同四半期は営業損失248,588千円）、経常損失170,212千円（前年同四半期は経常損失250,507千円）、四半期純損失は170,729千円（前年同四半期は四半期純損失1,148,235千円）となりました。

当社の事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。販売チャネルを区分した売上高の概況は次のとおりであります

#### ① TV通販

当販売チャネルには、TV通販番組にて販売するため、TV通販番組運営会社に対する商品の売上が含まれます。第3四半期累計期間においてはラジオ媒体での商品販売の強化、テレビ放送での訴求内容・演出のリニューアルの実施により業績の向上に取り組みました。「ゴムボンつるつる」、「パルスイクロス」、「スパイダージェル」、「超電水すいすい水」が売上を牽引し、売上高は666,622千円（前年同期比6.1%減）となりました。

#### ② バンダー販売

当販売チャネルには、小売店において店頭で販売するため、小売店に対する商品の売上が含まれます。第3四半期累計期間においては「ゴムボンバスブラシ」、「ゴムボンつるつる」、「超電水クリーンシュッ!シュッ!」、新商品の「99Tskumo傘」、「骨盤整隊カシャーシactive」を含めた骨盤整隊カシャーシシリーズが好調に推移しましたが、主力商品の入れ替えにより取引中の商品点数が減少したため、売上高は280,255千円（前年同期比44.4%減）となりました。

#### ③ インターネット通販

当販売チャネルには、インターネット上のショッピングモールでの商品の売上が含まれます。当第3四半期累計期間においては「ゴムボンつるつる」、「ゴムボンバスブラシ」、「スパイダージェル」、エアコン関連商品、骨盤整隊カシャーシシリーズの売上が好調に推移し、売上高は582,262千円（前年同期比19.0%増）となりました。

#### ④ セールスプロモーション

当販売チャネルには、クラウドファンディング事業「わくたん」及び企業等からのプロモーション活動や社内教育に関する依頼に基づいた動画の制作、又は実演販売士の派遣及び動画への出演による売上が含まれます。当第3四半期累計期間において、「わくたん」でのプロジェクトの獲得数及び流通額は順調に増加し、実演販売士のイベント出演案件も復調し好調に推移したものの動画制作案件が減少し、売上高は72,405千円（前年同期比27.5%減）となりました。

#### ⑤ デモカウ

当販売チャネルには、当社が消費者へ直接商品を販売するための当社直営店舗「デモカウ」及びECサイト「デモカウ」の売上が含まれます。当第3四半期累計期間において、ソラマチ店にて新商品の「骨盤整隊カシャーシactive」を含めた骨盤整隊カシャーシシリーズ、ゴムボンつるつるシリーズが売上を牽引したことで好調に推移しましたが、前年度に店舗数がソラマチ店と北千住マルイ店の2店舗からソラマチ店のみの1店舗へと減少したことにより、売上高は37,683千円（前年同期比1.8%減）となりました。

#### ⑥ その他

当販売チャネルには、社内販売制度などその他のチャネルの売上が含まれます。当第3四半期累計期間の売上高は5,983千円（前年同期比1,090.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて98,329千円減少し、1,548,263千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べて73,311千円減少し、1,372,401千円となりました。主な要因は、売掛金が13,494千円、棚卸資産が13,708千円増加した一方で、現金及び預金が68,822千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて25,018千円減少し、175,862千円となりました。主な要因は、無形固定資産が21,586千円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債総額は、前事業年度末に比べて72,400千円増加し、241,563千円となりました。流動負債は、前事業年度に比べて71,860千円増加し、224,254千円となりました。主な要因は、買掛金が45,029千円、未払費用が30,615千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度に比べて540千円増加し、17,309千円となりました。主な要因は、退職給付引当金が609千円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、四半期純損失の計上により利益剰余金が170,729千円減少したことにより、前事業年度末に比べて170,729千円減少し、1,306,699千円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。なお、下期予想は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	883,312	814,489
電子記録債権	12,161	88
売掛金	137,726	151,220
棚卸資産	362,493	376,202
前渡金	1,415	15,612
前払費用	9,997	13,117
前払金	2,200	-
未収入金	686	2,252
未収消費税等	36,310	-
貸倒引当金	△591	△583
流動資産合計	1,445,712	1,372,401
固定資産		
有形固定資産	20,655	17,223
無形固定資産	173,647	152,060
投資その他の資産	6,578	6,578
固定資産合計	200,880	175,862
資産合計	1,646,593	1,548,263

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	48,698	93,727
未払金	45,912	36,906
未払費用	22,793	53,408
未払法人税等	1,013	2,550
未払消費税等	-	10,392
前受金	174	550
預り金	3,627	6,318
契約負債	3,480	2,979
賞与引当金	26,693	17,421
流動負債合計	152,394	224,254
固定負債		
退職給付引当金	8,290	8,900
資産除去債務	7,617	7,619
長期未払金	71	-
繰延税金負債	789	789
固定負債合計	16,768	17,309
負債合計	169,163	241,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,160	401,160
資本剰余金	389,160	389,160
利益剰余金	687,446	516,716
自己株式	△337	△337
株主資本合計	1,477,429	1,306,699
純資産合計	1,477,429	1,306,699
負債純資産合計	1,646,593	1,548,263

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,841,703	1,645,213
売上原価	1,185,038	915,804
売上総利益	656,664	729,408
販売費及び一般管理費	905,252	902,225
営業損失(△)	△248,588	△172,816
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	71
還付加算金	112	164
保険解約返戻金	-	2,599
その他	81	227
営業外収益合計	203	3,062
営業外費用		
支払利息	689	-
為替差損	-	152
売掛債権譲渡損	570	142
その他	862	163
営業外費用合計	2,122	458
経常損失(△)	△250,507	△170,212
特別利益		
固定資産売却益	133	-
債務免除益	35,009	-
特別利益合計	35,143	-
特別損失		
固定資産売却損	116	-
棚卸資産評価損	932,117	-
特別損失合計	932,233	-
税引前四半期純損失(△)	△1,147,597	△170,212
法人税等	637	517
四半期純損失(△)	△1,148,235	△170,729



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮して計算しております。なお、法人税等は法人税等調整額を含めた金額であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、実演販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	20,473千円	38,121千円